

(組織名)

(代表者)

殿

融合 I T 人材育成連絡会へのご参画のお願い  
～ 融合 I T 人材育成の促進に向けた意見交換について ～

2013 年 5 月

独立行政法人 情報処理推進機構

理事長 藤江 一正

特定非営利活動法人 I T コーディネータ協会

会長 播磨 崇

平素より情報処理推進機構（I P A）ならびに I T コーディネータ協会（I T C A）の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、融合 I T 人材（次世代高度 I T 人材）育成の促進に向け、関係団体、企業様と融合 I T 人材育成連絡会を立ち上げ意見交換を行いたく、ご参画につきご協力をお願い申し上げます。

#### 1. 連絡会設立の背景

2012 年 6 月に開催された産業構造審議会新産業構造部会の報告では、従来の I T の役割が変化し、ビジネスの効率化から、I T は I T 関連産業の枠を超え、他産業、他分野との融合によってイノベーションを起こし、新たなサービスを創造する役割を担いつつある、としています。その後政府は、わが国の成長戦略の一つに、「イノベーション」を掲げていることは、ご承知のとおりであります。

2012 年 3 月には、産業構造審議会情報経済分科会にもとに人材育成WGが設置され、同年 9 月に出された人材育成WG最終報告書では、イノベーションを自ら起こすことができる人材を次世代高度 I T 人材とし、経営戦略をも含む事業創造ができる人材の育成と、イノベーションに係る専門的な知識・技能を測ることができる新たな仕組みが必要、と提言されています。

一方、各団体や企業、大学院等におかれては、人材と組織のイノベーション能力の向上に向けて、具体的な施策や研修が数多く見られるようになってきております。このようなことから、目的を同じくする民間団体、企業、大学等が集まり、促進のためのありかたについて検討を行う場を持つことが有効であろうと考えております。

産業構造審議会情報経済分科会人材育成WG報告書で提言された次世代高度 I T 人材育成の具体化に当たっては、I P A と I T C A の知見の活用が提言されていることもあり、両者がこの呼びかけを行うことと致しました。

よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 2. 最終的な連絡会の目的

連絡会での検討となりますが、最終的な連絡会の目的は以下と考えております。

- (1) わが国のあらゆる企業・組織が融合 I T 人材の育成を通じ、イノベーションを主体的に起こすことができる創造性豊かな人材を輩出する。
- (2) 融合 I T 人材が活躍・活用できる、イノベーションが創出される組織環境を作り、企業や組織の活性化を支援する。
- (3) 我が国の経済社会をイノベティブな環境に導き、新たな社会価値を創造し、国際競争力を高めることに寄与する。
- (4) これらの目的を達成するため、産官学の知見を結集する場を作る。

## 3. 連絡会での検討内容について

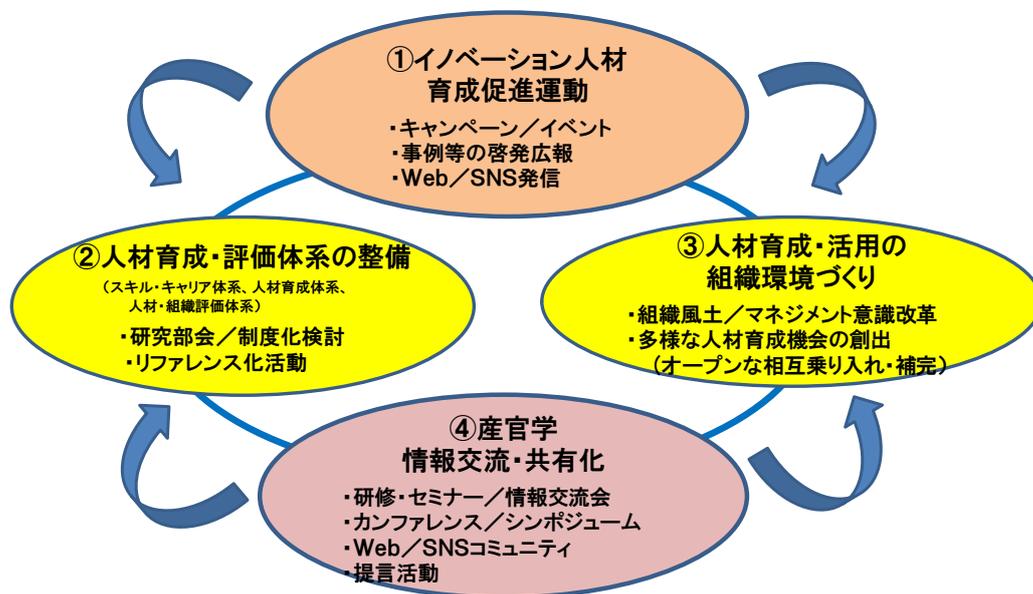
連絡会では、参画いただいた各団体、企業等でのイノベーションに関わる取り組み状況を共有し、今後協働することで相乗効果の出る方法として、どのような活動が相応しいのか、どのような組織運営が可能かを議論させていただければと考えております。

## 4. 連絡会での具体的な検討テーマ

連絡会で検討するテーマは、以下と考えております。

図では、当面議論すべき(1)～(4)のみ記載しておりますが、(5)については、(2)の中での具体テーマとなります。

- (1) 企業、団体、業種を超えたイノベーション人材育成促進運動のありかた
- (2) イノベーション人材育成・評価体系の整備のありかた
- (3) イノベーション人材を育成し活かすための組織環境作りのありかた
- (4) 産官学におけるイノベーション知見（施策や研修）の相互交流・共有化と重要課題解決のための施策提言のありかた
- (5) 将来の制度化、すなわち人材が一定程度の水準に達していることを評価できる制度（試験や認定）のありかた



連絡会に参画いただくことで、以下のようなメリットが得られるものと考えております。

- (1) 他の企業や組織での事例や、連絡会の成果物を参照・活用することで、人材育成に関する客観的な知見が自組織に訴求できる。
- (2) 自組織の取り組みレベルや、人材の能力評価が、客観的に評価できる。
- (3) 他の（場合によって）価値観の異なる人材と交流ができることで、イノベーションで重要な要素となる、組み合わせ、連携などの機会が増える。
- (4) 研修の相互乗り入れ、紹介等により、育成（研修）メニューが増え、コスト削減にもつながる。

5. この件のお問い合わせ先

I P A : 理事・IT人材育成本部長 田中 久也

I T C A : 常務理事・事務局長 久保寺 良之

以上